

## 第2編 基本構想

# 第1章 田布施町のまちの将来像

## 第1節 まちづくりの基本理念

田布施町は、美しい瀬戸内海に面し、気候も温暖で、豊かな自然と身近にふれあえる空間とひろがりをもっています。さらには、様々な文化や歴史、地域的な利便性、人と人との温かく深いつながりなど、それぞれが個性や魅力となり、本町の住みやすさを育む大切な要素となっています。

人口は、居住の快適性、利便性など住みやすさを判断する一つの指標として重視されています。本町の人口は、昭和30年の合併当時の16,500人とほぼ変わらずに今日まで推移してきました。このことは過疎や人口減少が大きな社会問題となるなか、田布施町の居住環境の良さを表しているといえます。

この住みやすさを更に磨いていくためには、新しい時代に対応したまちづくりの仕組みを整えながら、誰もが笑顔で暮らせ、また元気に暮らせる町の将来を創造していく必要があります。

アンケートでは、住環境については一定の評価を得ていますが、若年者や高齢者から保健医療サービスの充実や就労場所の確保などを要望する意見が多くあります。

これらの社会環境の変化や多様化する市民の要望、また少子高齢化に伴う人口の減少やそれに伴い厳しさを増す財政の見通し、さらに住民に身近な行政はできる限り地方に委ねられていく地方分権改革の推進など大きな時代変革の流れの中で、地方自治体には行政運営において経営感覚が求められています。

この構想は、平成32年度（2020年）を目標年度とする今後10年について、田布施町が抱える課題を整理し、まちの将来像（まちづくりの基本目標）を次のように定めて、新しいまちづくりを進めていこうとするものです。

## 第2節 まちの将来像

まちづくりの基本理念を踏まえて、美しく豊かな自然環境のもと、みんなが笑顔で元気に暮らすことのできる生活環境を整えることにより、田布施町の「住みやすさ」を未来につなげて行くことを理想とし、まちの将来像を

**「笑顔と元気あふれる 住みよいまち田布施」**と定めます。

